

一般会計歳入歳出決算額の詳細

	平成28年度決算額	平成27年度決算額	増減率 (%)	解説
(1) 歳入総額	1,433億3,252万円	1,443億7,032万円	△ 0.7	前年度に比べ法人市民税やたばこ税は減額となったものの、個人市民税や固定資産税が増額となるなど、市税全体では約2.3億円の増額となりました。 そのほか、国庫支出金が約17億円の増額となる一方で、地方交付税などの減額が影響し、歳入総額は約10.4億円の減額となりました。
(2) 歳出総額	1,410億8,540万円	1,406億8,261万円	0.3	農業災害支援事業が平成27年度に完了したことなどにより農林水産業費が約35.3億円の減額となりました。一方で、平成28年度から桃井小学校校舎改築工事の開始などにより教育費が約33.8億円、認定こども園施設給付事業などにより民生費が約23.5億円の増額となり、歳出総額は約4億円の増額となりました。
(3) 歳入歳出差引額	22億4,712万円	36億8,771万円	△ 39.1	「(1)歳入」から「(2)歳出」を差し引いた、形式収支と呼ばれるものです。
(4) 実質収支	15億7,854万円	33億1,034万円	△ 52.3	実質収支は、「(3)歳入歳出差引額」から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、このうち8億円を財政調整基金（貯金）に積み立て、残りの7億7,854万円を翌年度（29年度）への繰越金としました。
(5) 単年度収支	△17億3,180万円	7億9,464万円	△ 317.9	単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた、当該年度だけの収支の状況を見るものです。
(6) 実質単年度収支	△54億9,142万円	20億5,169万円	△ 367.7	実質単年度収支は、「(5)単年度収支」に財政調整基金への積立金（決算余剰積立以外）と市債元金の繰上償還金を加算し、財政調整基金の取崩額を減じたもので、単年度収支に含まれている黒字要素及び赤字要素を調整した収支の額です。